

日税メールステーション 特別号

海外基本情報

第24回 マレーシア編(1)

メールマガジンをお読みの皆様こんにちは、株式会社コアブリッジの柳です。
今号からマレーシア編をお届けします。

■ マレーシア概要

マレーシア(Malaysia)は、国土面積が日本の9割くらい、海を挟んでマレー半島南部とボルネオ島北部を領土とする国です。首都はクアラルンプール(KL)です。

一年を通して気温が 30 度前後で雨量も多いですが、雨季と乾季があります(時期は地域によって異なります)。乾季でもスコールがあり、雨季でも一日中雨が降り続くわけではありません。

人口はおよそ 3 千万人(数字はマレーシア統計局の統計データ<http://www.data.gov.my/data/ms_MY/dataset/population-and-demographic-statistics-malaysia> による)で、マレー系(7割弱)、中国系(2割強)、インド系(1割弱)が居住する多民族国家です。

公用語はマレー語(マレーシア語)ですが、広く英語も使われます。

イスラム教を国教としており、他にも仏教やヒンドゥー教なども信仰されています。信仰の割合は、前述の民族比率とだいたい一致します。



クアラルンプール(泥の川が交わる場所)という名前の由来である、クラン川とゴンパック川の合流地点。
合流地点の奥に見える白い建物は KL 最古のモスク”マスジッド・ジャメ”。

特徴的なのは、国家元首の国王が選挙制ということです。マレーシアは小さな王国が集合して成立した国家であるため、世襲制ではなく5年を任期として選挙で決められます。なお、議会は二院制で、首相が行政の長というのは日本と同じです。

通貨はマレーシアリングgit(RMあるいはMYRと表記)で、為替レートはこの原稿執筆時点で大体 1RM=25 円です。

物価は、モノによって異なりますが、感覚的に日本の半分くらいでしょうか。

日本との時差は1時間(日本が進んでいる)で、シンガポールと同じ時間帯です。時間帯の設定のためでしょうが、日の出が 7:30 くらい、日沈が 19:30 くらいと、朝明るくなるのが遅いです。日本人にとっては、時差が2時間だとちょうどいい感覚です。

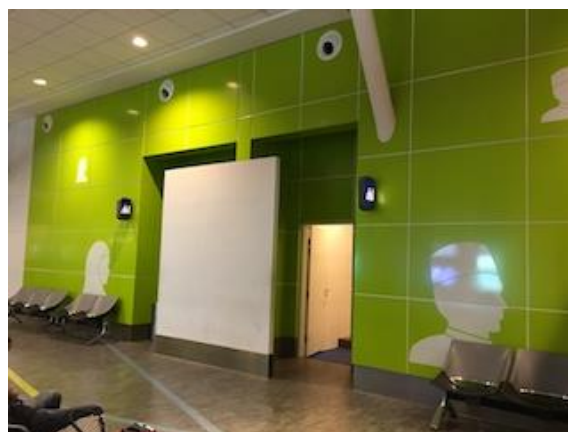
■ マレーシアの入出国

クアラルンプール(KL)の空の玄関口はクアラルンプール国際空港(略称 KLIA)です。黒川紀章が設計し大成建設や竹中工務店などが建設した(※敬称略)、近代的で巨大なアジアのハブ空港です。

空港はメインターミナルの KLIA と、マレーシアを本拠地とする AirAsia が使う LCC 用の KLIA2 に分かれています。

KLIA と KLIA2 のターミナルビルは直結しておらず少し離れているので、乗り継ぎ時には注意が必要です(電車やバスが出ています)。

ちなみに、KLIA は"キリア"あるいは"クリア"と発音するとガイド等にあつたのですが、向こうでそのように呼んでいるのを私は聞いたことがなく、移動時の券売所でも"ケイ・エル・アイ・エイ"と伝えてようやく分かってもらえました。



クアラルンプール国際空港(写真は KLIA2)。巨大で機能的な空港です。
右側の写真は搭乗口近くにあったイスラム教徒向けの祈禱室(Prayer room)。

日本国籍の人は、90 日以内の滞在であればビザは不要です。

入国審査は、イミグレーションでパスポートを提示するのみで、入国カードなどの記入・提出は不要です。ただし、係員によって差があるようなのですが、指紋登録を要求されることがあ

ります。係員が両手の人差し指を見せるしぐさをしてきたら、手元にある小さなコピー機のような機械に、両手の人差し指の腹をしばらく軽く押し当てていけば OK です。

■入国後の3タスク

毎度おなじみの「両替」「SIM カード入手」「移動手段確保」です。

両替は、空港内にある銀行の両替ブースでできます。ただし、レートは街中よりも1割以上悪いです。

携帯電話(スマートフォン)の SIM カードも、各通信事業者が競うように空港内に店舗を出しているため、選び放題です。

プランも様々ですが、例えば、7 日間で 1GB の通信上限で 8 リンギット分の通話付きで 27 リンギット(約 700 円)、のようなものがあります。

空港から KL 市内に向かうには、タクシー、バス、電車(KLIA Ekspres)があります。

タクシーは空港出口付近にチケットを購入するカウンターがあるので、そこで行き先を告げてお金を支払います。タクシーにはクーポンタクシーとメータータクシーの2種類あり、購入するカウンターが別になっています(クーポンは青、メーターは赤)。初めての方は定額制のクーポンタクシーのほうが安心でしょう。

クーポンタクシーにも Budget(4 人乗り、安い)/Premier(同、高級車で高い)/Family(5~9 人用のバン)の3種類あるので、カウンターで車種を指定してクーポンを買います。クーポンの値段は、KL 市内行きでそれぞれ 74.8RM(約 2,000 円)/102.6RM(約 2,500 円)/200.2RM(約 5,000 円)です(※)。渋滞状況にもよりますが、1時間から1時間半くらいで KL 市内に着きます。



左:チケット売場。写真では5番6番の青いブースがクーポンタクシーの、4番の赤いブースがメータータクシーの、3~1番のブースがバスのチケット販売ブースです。

右:KLIA Ekspres。空港と KL Sentral 駅の間を最速の 30 分で移動します。

タクシーと同様に、空港バスのチケットもカウンターで購入できます。空港から KL Sentral 駅までのバスで、金額は 10RM(約 250 円)、所要時間は約1時間です(※)。

空港から KL 市内までの最速の移動法は、KLIA Ekspres という特急です。KLIA2 から KL Sentral 駅までを結ぶ特急で、55RM(1,400 円)、所要時間は約 30 分です(※)。

券売所窓口では、行き先と人数と片道/往復(One way/Both ways)を伝えます。クレジットカードでの支払いが可能なのが結構ありがたいです。

※金額は執筆時点のもの。価格変更がありえますので必ず最新情報をご確認ください。

今回は以上で終了です。次回はマレーシアの歴史をお届けします。
ではまた次号でお会いしましょう。

※本文中の数値や URL 等は執筆当時のものです

執筆者

柳 恵太 (やなぎ けいた)

株式会社コアブリッジ代表取締役。

ソフトウェア開発会社、メーカー、教育ベンダーを経て、2014 年に株式会社コアブリッジを設立。これまでの、システム開発の上流から下流、受託側から発注側、エンジニアからプロジェクトマネージャー、ユーザーと開発者、企画・営業・開発・提供、日本と海外、社員から経営者といった、組織における幅広い役割を活かし、主に IT 企業向けの人材育成やコンサルティング等のサービスを提供している。

情報提供元:



株式会社コアブリッジ

<http://www.corebridge.co.jp/>

※本コラムは、<http://www.corebridge.co.jp/column.html> でもご覧になれます。